取扱説明書 保存用

プロクソメッド社製

カーディオメッド　アッパー

Kardiomed　Upper Ergo

KM-OKE

　このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
　正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
　「取扱説明書」はいつでも使用できるように、見やすい場所に大切に保管してください。

03-115③J1

≪現場用≫

取扱説明書

プロクソメッド社製

カーディオメッド　アッパー

Kardiomed　Upper Ergo

KM-OKE

　このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

　正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

　「取扱説明書」はいつでも使用できるように、見やすい場所に大切に保管してください。

03-115③J1

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、
各注意事項を読んで必ずお守りください。
表示の意味は次のようになっています。

⚠ 危険 … 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠ 警告 … 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠ 注意 … 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

危　険　○必ず本装置の管理者や指導者の監督のもとで、使用上の注意点などの説明を受けた上で使用してください。
特に心臓病、高血圧症、糖尿病、呼吸器疾患、変形性関節症、リウマチ、痛風などの病気や障害のある方は医師と相談の上使用してください。
○機器から異音，異臭がしたら直ちに使用を中止し、取扱説明書記載の営業所にご連絡ください。
○使用者が機器に乗っているときや使用中に電源を切らないでください。
○機器に水をかけないでください。また、小さな金属物を機器の上に置かないでください。

警　告　○トレーニングを行なう前には必ずウォーミングアップを行なってください。
○トレーニング中にめまい、動悸、気分が悪くなるなどの症状が現れた場合はただちにトレーニングを中止して速度を落としてください。
○機器の動作中に乗り降りすることは絶対にしないでください。また、二人乗り、後向き等の乗り方はしないでください。
○ポラールハートレートセンサーは携帯電話などの近くで使用しないでください。

注　意　○利用者は必ず低い負荷からトレーニングを始めてください。指示者が負荷の変更を行なう場合は利用者に必ず知らせてください。
○運動の前に血圧などをチェックし、支障のないことを確認した上で使用してください。

1．ご使用になる前に

ご使用前に本製品について P.27 の始業点検項目にもとづき、始業点検を実施してください。また、これ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

1-1　設置場所についての注意

1．本機を爆発性・可燃性の恐れがある場所や水まわりなど感電の恐れがある場所では使用しないでください。
2．屋外やほこりの多いところへの設置は行なわないでください。
3．本機の周辺には障害物を置かないでください。
4．本機は平らな安定した床面に設置してください。斜めの面に設置すると使用中に転倒する恐れがあります。
5．本機を2台以上並べて設置する場合は、お互いの間隔を1．5m以上離してください。

1-2　電源についての注意

本機は使用中にバッテリーを充電する自己充電機能になっていますが、長期間使用しない場合または使用時の負荷が低すぎる場合には十分に充電することができずにパネルが点灯しないことがあります。

この場合には市販されているACアダプターを購入し、充電するようにしてください。

（直流電圧6V一定、電流1A以上、プラグ内径2．5㎜、外形5．5㎜、センター極性プラス）

（参考）　アイコー電子（株）　　ミニACアダプター　PS－T20P　6V　などが市販されています。

警告　充電が終わりましたら必ずアダプターを外してから使用してください。誤動作や故障する場合があります。なお電圧は100V±5%の範囲内で使用してください。

1-3　使用上の注意

1．運動前に血圧などの健康状態をチェックし、支障のないことを確認してください。
2．心臓病、高血圧症、糖尿病、呼吸器疾患、変形性関節症、リウマチ、痛風などその他身体に不安のある方は事前に医師に相談の上で使用してください。
3．使用中に胸の痛みなどの異常や気分が悪くなった場合は使用を中止してください。
ただし、いきなり止めるのではなく低負荷にしてゆっくりと止めるようにしてください。

警告　トレーニングは必ず、利用者にあった適切なポジショニングと適切な負荷で行なうようにしてください。思わぬ事故や機械の故障を起こすことがあります。

注意　トレーニングの終了時にいきなりペダル等を止めないでください。徐々に速度を落とし、ゆっくりと停止するようにしてください。けがや機械の故障の原因になることがあります。

警告　携帯電話の近くでポラールハートレートセンサーを使用しないでください。混信する場合があり、思わぬ事故や機械の故障を起こすことがあります。

参考

心拍がうまくとれない場合はチェストトランスミッターのセンサー部分を水などで湿らして再度取り付けてください。

1-4　警告・注意シール

警告

事故発生の危険を低減させるために、下記の注意事項を必ずお守りください。

1. 必ず管理者の監督のもとで使用上の注意点などの説明を受けた上で使用してください。注意点等を知らずに使用したり、勝手な操作を行なうと危険です。
2. 機器に異常がないか点検してから使用してください。異常がある場合は使用せずに管理者や指導者にお知らせください。
3. 修理は取扱店もしくは弊社へご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
4. 機器の改造は絶対に行なわないでください。勝手な改造による機器の故障や事故の保証は致しません。
5. 使用中に痛みや不快感を感じた場合は、直ちに使用を中止してください。無理な使用は疾病やけがを誘発したり、障害の悪化を招く恐れがあります。
6. 使用者が機器から転倒、転落しないように介助、固定を確実に行なってください。
7. 機器の調整や部品交換などの際には使用者にぶつけたり、はさまないように注意してください。

＊機器附属の【取扱い説明書】【ユーザーズマニュアル】などを必ずお読みください。
＊この【警告】に書かれている内容は、お客様が購入された商品の仕様にはふくまれない項目も記載されています。

酒井医療株式会社

はがさないでください。

使用上の警告
けがや機械の故障を防ぐ注意です。

注意
この装置の付近で携帯電話や無線機、マイクロ波治療器など、電波を発生する装置を使用しないで下さい。
故障や誤動作の原因になります。

注意
けがや機械の故障を防ぐ注意です。

ロック確認

注意
調整機能のプルボタンなどの確認です。
止まっていない場合けがをすることがあります。

2. カーディオメッド アッパーについて

2-1 概要

プロクソメッド社製カーディオメッド アッパーは磁気ブレーキシステムを搭載し、アームを回転させることによる自己充電機能、プログラム選択及び登録機能、1分間以上アームを回転させない場合に自動的に電源が切れる節電モード機能及びバッテリー充電機能を有しています。また、心拍モニターはポラールハートレートセンサー（チェストタイプトランスミッター）を使用しています。

カーディオメッド アッパーには下記のプログラムモードを内蔵していますので様々なトレーニングを行うことが可能です。

2-1-1 各部の名称と調節機能

シート位置の変更
1. ロックノブを緩めます。
2. プルボタンを引きながら、シート部を前後させ調節します。
3. 適切な位置に調節したら、プルボタンが入っていることを確認してください。

2-2 ディスプレイ画面

Kardiomed Line
● 1. クイックスタート
● 2. 時間設定トレーニング
● 3. 心拍設定トレーニング
● 4. ＰＣ
● 5. スペシャルプログラム
・アイソキネティック
・リハ1
・リハ2
※心拍設定トレーニングには胸部心拍センサーが必要です
回転数
プログラム
時間
距離（km） ／ 距離（m）
仕事量（kj）
心拍数
ギア ／レベル
速度（km/h）／速度（m/min）
ワット
【クイックスタート】
ペダルをこぎ始めて下さい
負荷の調整は＋－ボタンで行ないます
終了する際は決定ボタンを押します
【時間設定トレーニング】
①オンボタンを押します
②決定ボタンを押します
③＋ボタンを押します
④決定ボタンを押します
⑤＋－ボタンでトレーニング時間を設定します
⑥決定ボタンを押すとスタートします
⑦トレーニング中の負荷設定は＋－ボタンで行ないます
トレーニング終了後は自動的に電源がｏｆｆになります
proxomed
オン
決定
－
＋

回転数	ペダルの回転数（毎分）
時間	トレーニング時間または、トレーニング残時間
距離（km）/距離(m) 仕事量（kj）	走行距離またはエネルギー消費量 ※初期画面では、バッテリー残量を表示します。 3.6V以下になっている場合は電圧が不足していますのでアダプターを接続し、充電してください。
心拍数	心拍数（パルスセンサー使用時）
ギア/レベル	現在のギアレベル（１～２１）
速度 (km/h)/(m/min)	8 秒毎に走行速度を更新及び表示
ワット	Watt を表示

ボタン	機能
オン(電源ボタン)	電源ON 初期画面が表示後、プログラムナンバーに“１”が表示されます。
決定	プログラムの決定
ー, ＋（数値変更ボタン）	プログラム個々のパラメーター内容の変更をします。

クールダウンモード	トレーニングプログラムが終了した場合または、トレーニング中に「Enter」ボタンを押してトレーニングを中止すると自動的にクールダウンモードになります。
ギアモード	21 段階のギア設定により、一定のトルクによるペダリングを可能にします。ロードトレーニング感覚で行なうことができます。
コンスタントパワーモード	回転数を 60～100 回転に維持することによりパワーを一定に保ちます。消費カロリーの管理を容易に行なうことが可能です。
アイソキネティックモード	ペダル回転数を設定し、設定数値を超えないようにすることができます。設定数値でのトレーニングは利用者の出す力に応じて抵抗が変化します。

３. 操作方法

3-1　始動の準備

「オン」ボタンを 2 秒以上押し続けてディスプレイを立ち上げます。
初期画面が表示された後、プログラムナンバーに「１」が表示されます。

参考

電源オンの後に、アームを回し続けるとクイックスタートプログラムを行うことができます。

参考

初期画面でバッテリー残量が表示されます。3.6V 以下になっている場合は電圧が不足していますので、アダプターを接続し、充電してください。

3-2　プログラムの選択

プログラムを起動するには下記の手順で起動します。

1. ディスプレイをオン状態にします。
2. 「**決定**」ボタンを押すとプログラムのランプが点灯し、プログラムの選択モードとなります。
3. 「＋」、「－」ボタンを操作してプログラムを選択します。
4. プログラムを選択したら「**決定**」ボタンを押してプログラムを確定します。

４. トレーニングプログラム

プログラム　１　　クイックスタート

本プログラムはRPM（速度）を主体としたシンプルなトレーニングを行ないます。トレーニング中であっても２１段階の抵抗を変更することが可能で、RPMを監視しながらリアルタイムにパネル表示を変化させます。最短では２分間のトレーニングで、結果を表示する事ができます。
本プログラムを起動するには「ON」ボタンを２秒以上押し続けるか、ペダルを回転させるとディスプレイが立ち上がります。そのままペダルを回転させることでクイックスタートを起動する事ができます。プログラムで選択する場合にはプログラム番号１を選択します。

トレーニング結果

・平均回転数
・トレーニング時間
・総走行距離
・エネルギー消費量
・平均心拍数（パルスセンサー使用時）
・平均速度
・平均負荷

プログラム　２　　タイムトレーニング

本プログラムは負荷が一定に保たれるようにRPMを自動的に調整します。ハートレートセンサーの使用、未使用に関係なくトレーニングを行うことができます。

プログラム手順

1. ディスプレイを立ち上げ、プログラム番号 2 を選択します。
2. トレーニング時間を入力(初期値は１０分)
   「＋」、「－」ボタンを操作して１分単位で時間を変更し、「決定」ボタンを押して確定します。
3. 50W の負荷でトレーニングがスタートします。負荷は「＋」、「－」ボタンを操作することで５W単位の調整が可能です。　　※トレーニング中でも負荷（Watt）は「＋」、「－」ボタン操作で変更が可能です。
4. トレーニングプログラムが終了または、「決定」ボタンを押して中断した場合には、下記の結果が表示されます。

トレーニング結果

・平均回転数
・トレーニング時間
・エネルギー消費量
・平均心拍数（パルスセンサー使用時）
・平均負荷

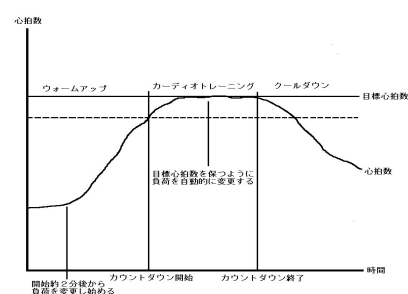
プログラム ３　カルディアックトレーニング

本プログラムは入力した心拍数を自動的に監視しながらトレーニングを行なえるプログラム構成になっていますので被験者の個々に応じたトレーニングを行なう上で非常に役立ちます。
プログラムをスタートさせるとウォームアップから始まります。この時点ではまだ設定したトレーニング時間はカウントされません。約２分後から負荷が加わり、少しずつ目標心拍数に近づけます。設定された目標心拍数（実際は約１０下の心拍数になります）に達すると“ピー”と音が鳴ってトレーニングが開始されたことを示し、時間表示はカウントダウンへ切り替わります。
トレーニング中は目的の心拍数に留まるように行ない、負荷は心拍数により制御されます。負荷は心拍数が高くなれば下げ、心拍数が低くなれば上がります。

プログラム手順

1. ディスプレイを立ち上げ、プログラム番号 3 を選択します。
2. 目的の心拍数を入力(初期値は１３０）推奨値＝１８０－年齢
   「＋」、「－」ボタンで操作し「決定」ボタンで確定します。
3. はじめの負荷値を入力(初期値は２５W）
   「＋」、「－」ボタンで操作し「決定」ボタンで確定します。
4. トレーニング時間を入力(初期値は１０分間）調整は１分毎
   「＋」、「－」ボタンで操作し「決定」ボタンで確定します。
5. この時点でプログラムはスタートし、ウォームアップから始まります。
6. 目的の心拍数に達すると“ピー”と音声が鳴り、設定したトレーニングが開始されます。
7. プログラムが終了すると自動的にクールダウンモードに切り替わります。
8. トレーニングプログラムが終了または、「決定」ボタンを押して中断した場合には、下記の結果が表示されます。

トレーニング結果

・平均回転数
・トレーニング時間
・エネルギー消費量
・平均心拍数（パルスセンサー使用時）
・平均負荷

プログラム ４　PC

本プログラムは現在使用できません。

プログラム ５　アイソキネティック

本プログラムは一定のRPMを維持し、被験者が負荷を調整してトレーニングを行なうプログラムです。
RPMが最大時には負荷を調整し、トレーニングを一定の速度に保つようにします。
本プログラムはリハビリテーション用として活用することができ、動きに制限のある被験者にも有効なトレーニングです。

プログラム手順

1. ディスプレイを立ち上げ、プログラム番号 5 を選択します。
2. トレーニング時間を入力(初期値は１０分間） 調整は１分毎
   「＋」、「－」ボタンで操作し「決定」ボタンで確定します。
3. 回転数を入力(初期値は６０W)
   「＋」、「－」ボタンで操作し「決定」ボタンで確定します。
4. この時点でプログラムはスタートし、トレーニング時間がカウントされます。
   ※RPMはトレーニング中でも「＋」、「－」ボタンを操作して５Watt単位で調整する事が可能です。
5. トレーニングプログラムが終了または、「決定」ボタンを押して中断した場合には、下記の結果が表示されます。

トレーニング結果

・平均回転数
・トレーニング時間
・エネルギー消費量
・平均心拍数（パルスセンサー使用時）
・平均負荷

プログラム ６　リハビリテーショントレーニング１

本プログラムは初心者から経験者まで幅広くスタミナトレーニングを行なえるプログラムになっています。トレーニング1では小さい負荷から順を追って最大負荷まで上げ、最大負荷に達してからは細かいステップで下がっていきます。トレーニング時間は17分間でプログラムが終了すると自動的にクールダウンモードに切り替わります。
心拍数を監視する場合にはポラール（*POLAR*）を使用します。最大心拍数を超えた場合、そのまま持続させるとディスプレイ上に" PULSE"サインがディスプレイ上に表示され、警告音を鳴らします。この場合にはペダルの回転速度を遅くし、最大心拍数以内になるようにします。30秒以上、心拍数が落ちない場合にはプログラムは自動的にトレーニングを中断し、クールダウンモードに切り替わります。

プログラム手順

1. ディスプレイを立ち上げ、プログラム番号 6 を選択します。
2. スタート時の負荷を入力(初期値は25Watt，最大は100Watt)
   「＋」、「－」ボタンで操作し「決定」ボタンで確定します。
3. 最大心拍数を入力(初期値は130)
   「＋」、「－」ボタンで操作し「決定」ボタンで確定します。
4. 最大負荷を入力
   プログラムが割り当てますので「決定」ボタンで先に進めます。
5. RPMは60で設定されています。RPMを変更した場合には負荷もRPMに比例して変更されます。
6. 以上でプログラムはスタート状態となり、ウォームアップから始まります。
   トレーニングの時間はカウントされ、ウォームアップが終了（約3分）するとトレーニングが開始され自動的に負荷の変更を行います。
   ※最大負荷(Watt)はトレーニング中いつでも「＋」、「－」ボタンを操作して調整する事が可能です。
   　トレーニング中の負荷はディスプレイの下方に表示されます。
7. プログラムが終了すると自動的にクールダウンモードに切り替わります。
8. トレーニングプログラムが終了または、「決定」ボタンを押して中断した場合には、下記の結果が表示されます。

トレーニング結果

・平均回転数
・トレーニング時間
・エネルギー消費量
・平均心拍数（パルスセンサー使用時）
・平均仕事量

プログラム 7　リハビリテーショントレーニング 2

本プログラムはプログラム 6 と同様に、一般的な負荷とエアロビを考慮したスタミナトレーニング用プログラム構成となっています。
トレーニング時間は15分間となり、プログラムが終了すると自動的にクールダウンモードへ移行します。また本プログラムでは心拍数の監視を行ないますのでポラール（PORLA）を使用します。プログラムが最大心拍数を検知した場合には"警告音声が鳴り、最大心拍数を超えた事を示す"PULSE"サインをディスプレイ上に表示されます。この場合にはペダルの回転数を下げて対応します。もし30秒以上心拍数が下がらない場合には自動的にプログラムを中断し、クールダウンモードへ移行します。

プログラム手順

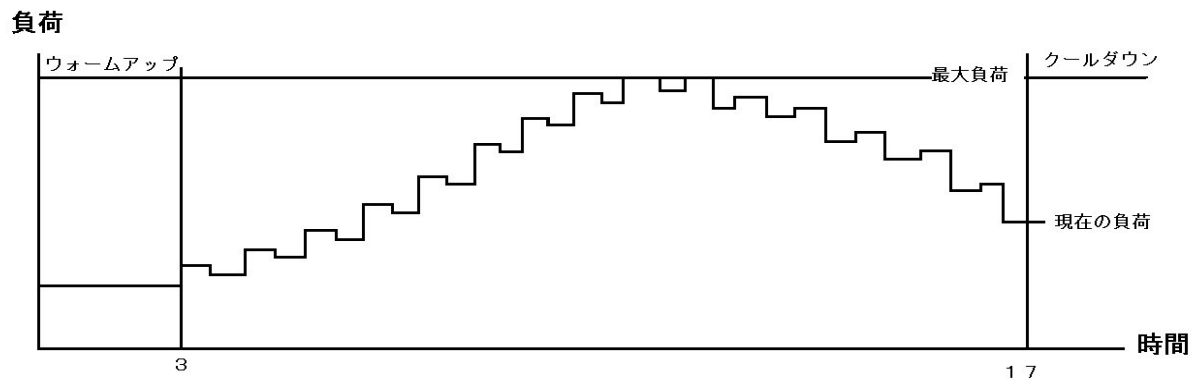
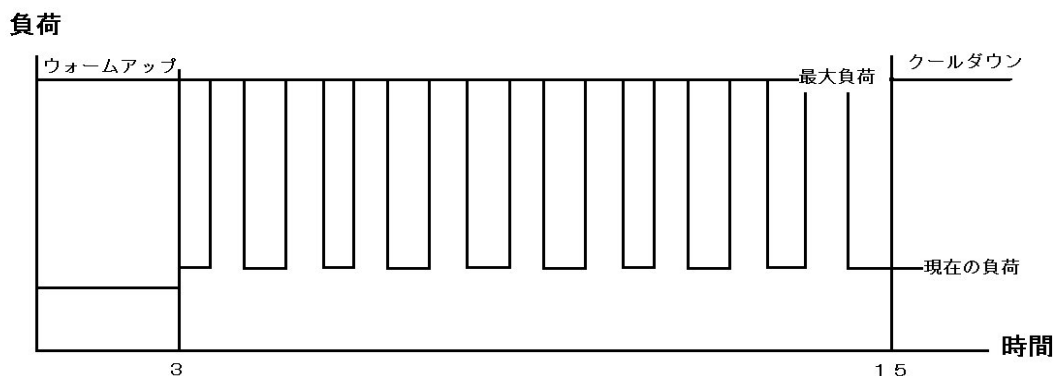
1. ディスプレイを立ち上げ、プログラム番号 7 を選択します。
2. スタート時の負荷を入力(初期値は25Watt，最大は100Watt)
   「＋」、「－」ボタンで操作し「決定」ボタンで確定します。
3. 最大心拍数を入力(初期値は130)
   「＋」、「－」ボタンで操作し「決定」ボタンで確定します。
4. 最大負荷を入力
   プログラムが割り当てますので「決定」ボタンで先に進めます。
5. RPMは60で設定されています。RPMを変更した場合には負荷もRPMに比例して変更されます。
6. 以上でプログラムはスタート状態となり、ウォームアップから始まります。トレーニングの時間はカウントを始めます。
   ※最大負荷(Watt)はトレーニング中いつでも「＋」、「－」ボタンを操作して調整する事が可能です。
   　トレーニング中の負荷はディスプレイの下方に表示されます。
7. プログラムが終了すると自動的にクールダウンモードに切り替わります。
8. トレーニングプログラムが終了または、「決定」ボタンを押して中断した場合には、下記の結果が表示されます。

トレーニング結果

・平均回転数
・トレーニング時間
・エネルギー消費量
・平均心拍数（パルスセンサー使用時）
・平均負荷

リハビリテーショントレーニング１，２の補足（下図参照）

リハビリテーショントレーニング１，２では負荷のかけ方がことなります。
リハビリテーショントレーニング１ではこまかな負荷を行ないながら最大負荷まで上げていきます。
その負荷の変更も約３０秒といった短い間隔で行ないます。
リハビリテーショントレーニング２では最大負荷と軽い負荷を繰り返すというかけ方を行ないます。
負荷の変更も１分単位といった比較的長めの間隔で行ないます。
いずれの場合も設定したRPMで行なうということが重要になります。

リハビリテーショントレーニング１

リハビリテーショントレーニング２

（注意）この図は負荷のかかり方を比較したもので必ずこの通りの負荷がかかるという訳ではありません。
個人によって負荷の変動の仕方は変化します。

５．チップカード

5-1　チップカードの種類と概要

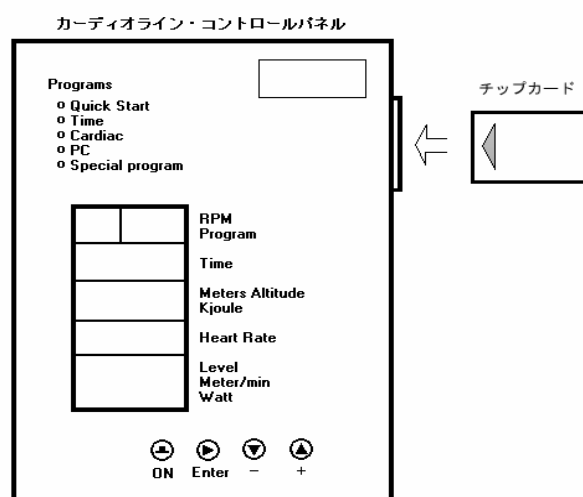
・マスターカード　　：　利用者のプロトコルを作成する場合に使用します。
・カスタマーカード　：　利用者が保持します。

マスターカードはカスタマーカードのプロトコルを登録又は変更を行なうときに使用します。
カスタマーカードだけではカード内のプロトコルを変更する事はできません。
このチップカードはカーディオラインのエルゴメータ（サイクル、ワォーク、ステア、OKE，リカンベント）で使用でき、被験者個人用として各機種別にプロトコルを登録する事ができます。
※　各機種ごとに登録できるプロトコルは１つだけとなりますのでご注意下さい。

5-2　プログラム手順

指定プロトコルの書込み

１．ディスプレイのボタンを操作して、登録したいプログラム番号を選択します。
２．トレーニング用の全パラメーターを設定します。
３．ペダルを操作してプログラムを実行して下さい。
４．マスターカード（矢印の方向から）をディスプレィ右側のカード挿入口へ差し込みます。
５．ビープ音が3回なったらマスターカードを抜いて下さい。
６．カスタマーカードを挿入して、ビープ音が２回鳴ったらカスタマーカードを抜いて下さい。

以上で指定したプロトコルのカスタマーカードへの登録が完了します。

カスタマーカードからのプロトコル読み込み

クイックスタートモード（プログラム番号１）にして各パラメーターがリセットされた状態（全ての表示値が0）にして、カスタマーカードを挿入します。
登録されているプログラムが読み込まれると、はじめに４秒間、プログラム番号表示「Ａ」が表示され測定した全エルゴメータの要約された測定結果が表示され、次にプログラム番号表示「Ｅ」が表示されて、現在使用しているエルゴメータの測定結果が２秒間表示されます。
最後にプログラムの読み取りが完了したらディスプレイにパラメーターが表示されますので、トレーニングを行って下さい。
プロトコルを完了したらカスタマーカードを抜いて下さい。またプロトコルを完了する前にトレーニングを中止したい場合には「ENTER」ボタンを押して中断します。
プログラムを完了又は、「ENTER」を押して中止して場合はそのトレーニング結果がディスプレィ上に表示され、そのデータは自動的にカスタマーカードに書き込まれます。
ディスプレイのトレーニング結果が消えたらカードを抜いて終了します。

６．メンテナンス

6−1　日常のメンテナンス

1.クランクやアームがしっかり固定されているかを確認してください。
2.位置調整の各部分を掃除してください。
3.カバーを石鹸水等で清掃してください。
4.動作に違和感がないか確認してください。
5.カバーがしっかりと固定されているか確認してください。

6−2　充電式バッテリーについて

約５０Ｗ以上の電圧が加えられるとトレーニング中でも自動的にバッテリーの充電が行われ、それ以下では消耗します。通常では電圧不足になることはありませんが、時間の短いトレーニングや低いトルクの繰り返し等の特別なトレーニングを行なった場合には消耗が早くなる場合があります。
充電が行われる状況とディスプレイの表示は以下の様になります。

充電レベル

4.0 Volt	最大充電時
>3.3 Volt	バッテリーシンボルがディスプレイに表示されます。
>3.15 Volt	“Charge”（充電）がディスプレイに表示されます。
>3.0 Volt	“Charge”（充電）が表示されて電源が落ちます。

どのような場合でも電池は必ず充電式バッテリーを使用してください。また通常のトレーニングではバッテリーも十分に充電されますが、それでも充電が不十分な場合には充電器を使用して充電を行ないます。充電用のコネクタは本体の前面下部に装備されています。また充電式バッテリー自体が消耗した場合にはディスプレイの内部のバッテリーを交換して下さい。

7. 始業点検

- 本製品をご使用する際は、機器の管理者の方が下記の点検項目に基づき、必ず始業点検を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- 点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

始業点検表

区分	点検内容	点検方法
外観	周囲の障害物の有無	目視
	本体の安定性	水平な面に置かれ、安定していることを確認
	各部品のはずれ、ガタつき、取付ボルトの緩み、脱落	目視 または、スパナ等による確認
	各部の損傷	傷・変形・破損・磨耗などないことを確認
	駆動部の状態	がたつきがなく、しっかりと固定されていることを確認
	アーム・シート・背もたれの汚れ	目視
機能	シート・背もたれの調節	シートスライド、背もたれ調節がスムーズで、固定が十分であることを確認
	各ボタンの状態	ボタンの動作が正常であることを確認
	ディスプレイ表示の状態	表示が正常であることの確認
	アームの状態	回転にむらがなくスムーズで、異常な音や匂いがないことを確認

８．保証とアフターサービス

保証書と保証期間

保証書はよく読んで大切に保管してください。保証書がありませんと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
保証期間につきましては、正常な状態でご使用いただきながら故障した場合１年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。
  機種名：　*KM-OKE*
  お買い上げ年月日
  故障状況(できるだけ詳細に)
  住所，氏名，電話番号
- メーカーより指示のあるとき以外は、決して分解しないでください。

定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、弊社最寄りの営業所へお問い合わせください。

９．仕様

型式	KM-OKE
寸法	1380（L）×770（W）×1630（H）㎜
本体質量	65kg
駆動方式	バッテリー併用自己発電方式
負荷抵抗	磁気誘導ブレーキ方式
負荷設定	5W 毎
トレーニングプログラム	９パターン
アイソキネティックモード	25～500W
コンスタントモード	25～350W
ギアモード	25～500W
回転数／速度	30～150RPM
付属品	ポラールハートレート（チェストトランスミッター） チップカード （マスターカード　１枚　カスタマーカード　５枚）

注）都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。